



医療連携ニュース



2021年8月号

発行 東海大学医学部附属八王子病院 患者支援センター 医療連携室 TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

盛夏の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部附属八王子病院医療連携ニュース2021年8月号を発行いたしました。
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただく、一助となれば幸いです。

患者支援センター長 向井 正哉、医療連携室長 角田 隆俊

待機治療から緊急治療まで:確実に侵襲が少ないカテーテル治療を提供



東海大学医学部附属八王子病院
循環器内科 准教授 吉町 文暢 医師

【専門分野】

心血管インターベンション 循環器疾患 内科一般

【専門医・認定医】

日本内科学会認定専門医、日本循環器学会認定専門医、日本心血管インターベンション学会専門医、アジア太平洋心血管インターベンション学会フェロー、ヨーロッパ心臓病学会フェロー

コロナ禍においても、動脈硬化疾患は患者さまの中でじわじわと進行します。むしろ、生活習慣病の管理不足が進み、今までよりも状況は宜しく無いようです。そしてわずかに症状を自覚したとしてもついつい放置し、完全に破綻してから救急車で搬送されるというパターンが増えています。患者の高齢化も相まって病態も複雑化し、治療に難渋する場合も少なくありません。このような状況においても、私達は24時間いつでも患者さまを受け入れ、低侵襲で確実な治療を提供すべく体制を整えております。

まずは、急性心筋梗塞へのインターベンションができる待機医師が2名増えました。また、上級医が遠隔にて手技を監視し指示ができるシステムも構築いたしました。(図1)これにより夜間や休日であっても的確な治療戦略の元、これまで以上に最良な治療が提供できるようになりました。待機的治療は、複雑病変に対しても様々なデバイスを多様して低侵襲で良好な成績を収めております。他院での成功を収められなかった症例に関しても最新の機器や新しい治療手技をもちいることにより、カテーテル治療で対応できる症例が増えました。

さらに、私たちの長年のこだわりである「複雑病変に対しても確実に低侵襲な治療」というモットーを更に進化させております。その中の一つはカテーテルのアプローチ部位であり、世界で最先端の話題のひとつ、遠位橈骨動脈アプローチを積極的に取り入れています。(図2)従来の手首の付け根の動脈から、親指の付け根の動脈とわずか4-5cm末梢側、手首関節を一つまたぐだけで、出血性合併症の低下、圧迫時間の低減、患者さんの稼働制限の減少と疼痛の軽減が見込まれます。

外来の窓口も大きく広げ、私自身が月～水・金土の朝10時までは初診外来を務めます。狭心症や不整脈を考える患者さま以外にも、御高齢で主訴が曖昧である患者さま、弁膜疾患の患者さま、末梢血管・閉塞性動脈硬化症の患者さま、薬剤の調整が必要な患者さまなど、様々な循環器疾患や内科疾患一般に対応し、遅延のない情報の共有と患者さまへの逆紹介を提供いたします。

以上の様に、救急治療から外来および待機治療まで、常に良質確実な治療を循環器チーム全体で提供でき得るように日々努めております。

循環器疾患のスクリーニングや薬物治療、専門的な検査や治療まで幅広くいつでも対応しております。御遠慮なく患者さまをご紹介頂けますようお願い申し上げます。



(図1)リモートシステム



(図2)遠位橈骨動脈アプローチ

当院産婦人科の新体制について



東海大学医学部付属八王子病院
産婦人科医長 講師 西島 義博 医師

【専門分野】

産婦人科一般、生殖医療(不妊治療)、内視鏡手術

【専門医・認定医】

日本産科婦人科学会指導医・専門医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医(腹腔鏡)、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本生殖医学会生殖医療専門医、母体保護法指定医

当院産婦人科では2021年4月より新体制となり村松教授を筆頭に計9名体制で診療を行っております。現在、婦人科腫瘍専門医、周産期専門医、生殖医療専門医、内視鏡技術認定医が在籍し、あらゆる分野に関して質の高い医療を提供するとともに後進の指導にも力を入れております。

私は昨年度まで東海大学医学部付属病院にて不妊治療、腹腔鏡下・子宮鏡下手術を中心にやってまいりました。婦人科良性疾患の多くが腹腔鏡下手術の適応となります。妊娠を希望される方の卵巣嚢腫、子宮内膜症、子宮筋腫には手術後の妊娠率の向上を目指して積極的に腹腔鏡下手術を行っています。また子宮全摘術も最近ではほとんどが腹腔鏡下手術で行っています。しかしながら、腹腔鏡下手術が無理な場合や適切でない判断する場合には開腹手術を行います。当院は二次救急医療機関であることから異所性妊娠や卵巣嚢腫茎捻転などの婦人科救急疾患も積極的に受け入れできる限り腹腔鏡下手術にて対応しています。現在、婦人科悪性腫瘍に関しては婦人科腫瘍専門医と内視鏡技術認定医が協力し初期子宮体癌のみ腹腔鏡下手術にて行っております。

当院では産婦人科疾患全般に対応してまいります。お困りの症例がございましたら積極的にご紹介いただければと思います。地域の先生方とは円滑な医療連携(紹介および逆紹介)を推進していきたいと思っております。今後も地域医療に貢献できるようスタッフ一丸となって尽力してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。



手術風景

医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。(一部の診療科を除く)

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間: 月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日 8:00～11:00

休診日: 日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日(建学記念日)、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル 042-639-1114

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス 042-639-1115

24時間対応 * 受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル 042-639-1111(代表)

平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30